



矢上小メディア宣言

現在、メディア（スマホ・ゲーム・テレビなど）は常に子供たちの身の回りにおいて、多くの人々が楽しく利用している反面、SNSによるいじめや誹謗中傷、情報漏えいなどのトラブルも大きな社会問題の一つとなっています。「便利さや豊かさ」を求めることは、人類の進歩として当然の営みと言えますが、そこには同時に負の部分も生み出されてしまうというのも世の常なのでしょう。「課題の解決」という言葉は、これからも欠かせない言葉にちがいません。

さて今年度、このメディアの問題を、長崎県こども未来課様と連携し、「学校×ココロねっこ」として、子供たちによる「矢上小メディア宣言」を設定することになり、第2回代表委員会で話し合い、さまざまな案を出したり修正したりしながら次のように決定しました。

【矢上小メディア宣言】

**1日のメディア時間を2時間までとし、30分ごとに5分の休憩をとる。
寝る1時間前～30分までにはメディアをやめる。**

この宣言をもとに、夏休みに向けて自分自身が守っていききたいことや目標を「わたしががんばること！」としてカードに記入し実践しようという取組を行うことにしています。（まずは3年生以上の学年から）

後日、お子さんがこのカードをもとに実行しようと頑張っていたら、ぜひ褒めていただくとともに、取組へのご協力をよろしくお願いいたします。

メディアとの上手な付き合い方について、自分で考え行動できることをめざします。

なにしろ初めての取組です。失敗もあることと思いますが、課題の解決に向けてチャレンジしていきましょう！

池のポンプ

右の写真は本校の体育館前にある池の写真ですが、よく見ると噴水が吹きあがっているのがわかりますか？このたび、150周年記念事業の一環で、このポンプを寄贈していただきました。緑色になった池を透き通ったきれいな池にするほどの清掃機能は備わっていないようですが、金魚やコイなどの生き物に、少しは酸素が行き届くのではないかと思います。飼育担当の先生方も、心待ちにしていた循環ポンプです。

改めて保護者・地域の皆様のご支援に感謝しています。



暗唱検定「いのちのバトン」は…。

校長室に来て暗唱にチャレンジし、合格して「暗唱認定証」を受け取った子は、すでに100名を超えました。中には、「家で家族に聞いてもらって練習しました。」という子もあり、なんだかほのほのご家庭の様子が目に浮かびました。賞状を受け取って校長室をあとにする子の背中からは、何とも言えぬ成就感が伝わってきます。期限はありません。まだまだ、チャレンジを待っています。